

みなかみ 議会 だより

第13号

平成20年11月1日発行
(2008年)

群馬県利根郡みなかみ町



来年4月より
認定子ども園になります

(にいほる幼稚園・保育園)

定例議会 (平成20年9月10～19日)

…2

平成19年度決算 一般会計・特別会計 ————— 2

平成20年度補正予算 一般会計・特別会計 ————— 5

町政を問う 一般質問8人 ————— 6

臨時議会 (平成20年10月20日)

…14

議会の動き ————— 15

9月 定例議会

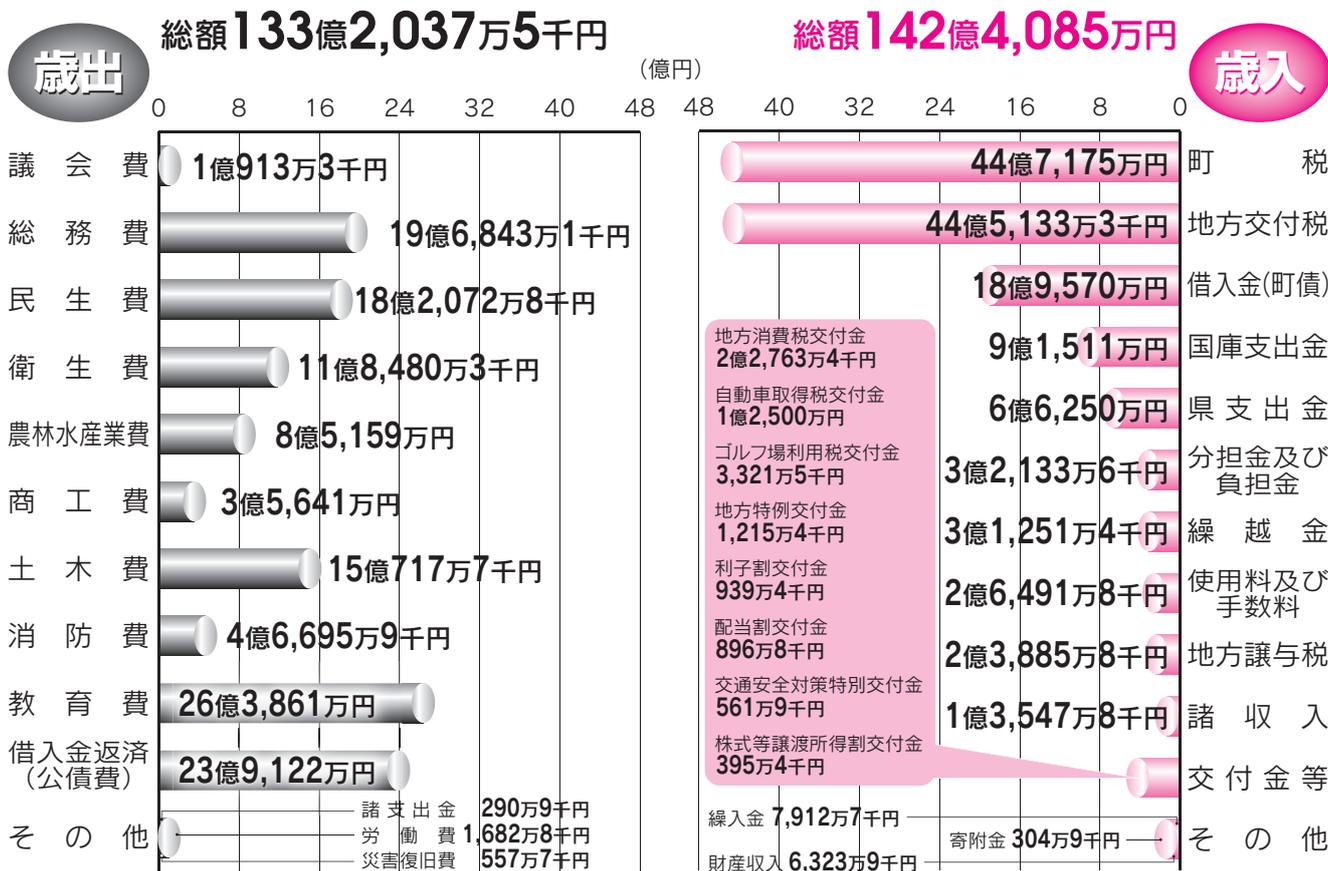
10日から19日までの10日間の会期で開催されました。

発議4件、報告5件、専決処分3件、補正予算8件、条例改正・制定5件、その他4件が提出されました。また、19年度一般会計・特別会計11件の決算を審査しました。審議の結果、全ての議案を原案通り可決・認定しました。

8人の議員が『地域振興』『請負契約』『教育環境』『財政』『施設管理』その他町の課題等について一般質問をしました。

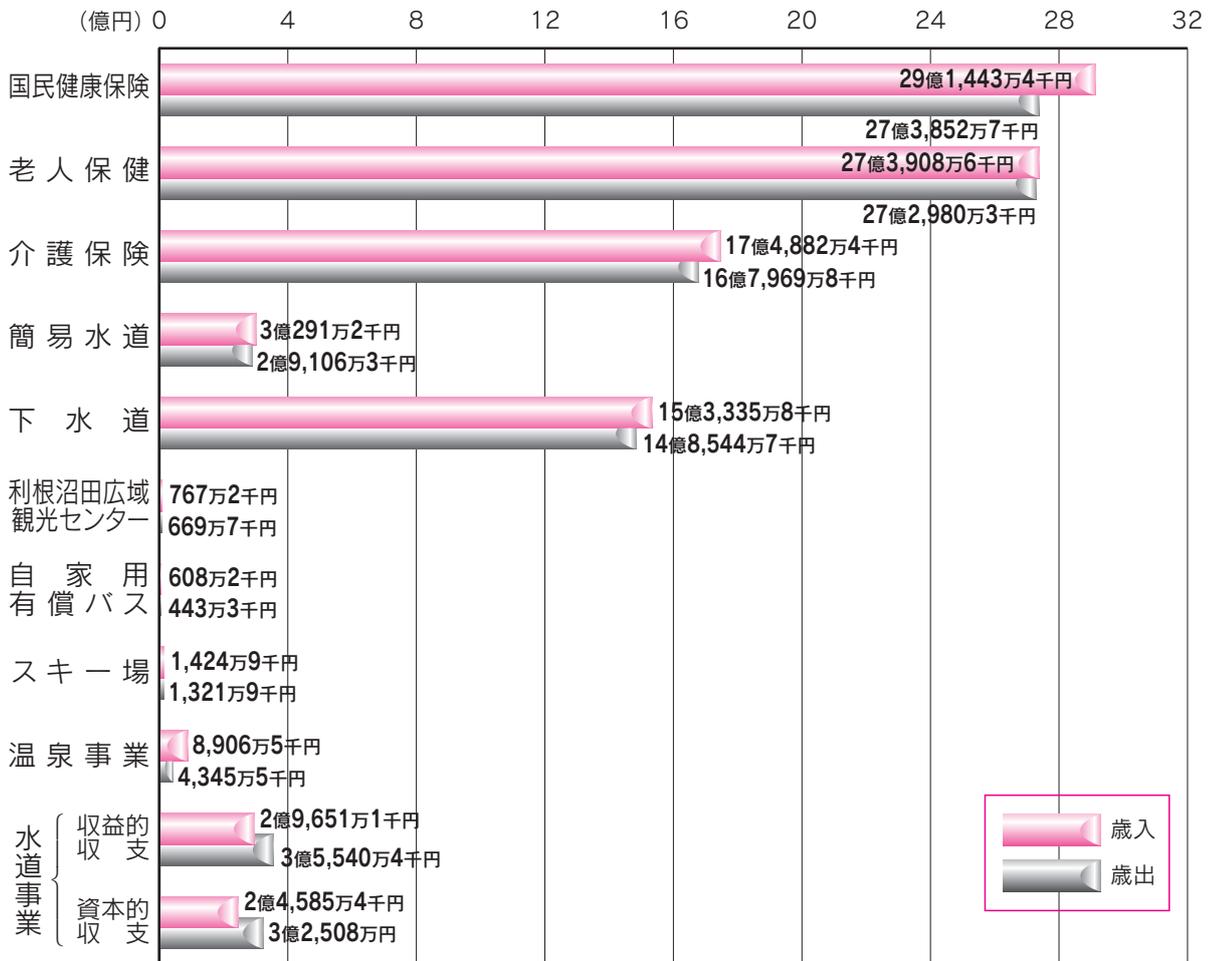
平成19年度決算

一般会計



特別会計

決算討論



◇一般会計

反対 穂苅清一議員

指摘すべき課題が多く、無駄遣いが反映されています。

賛成 林喜美雄議員

不要な支出を抑制してきた結果、黒字決算となり、町民の理解を得られると考えます。

◇国民健康保険特別会計

反対 原澤良輝議員

保険給付の権利を守ること、国保の問題を考慮し、また予防接種の助成が削られていることについても反対です。

賛成 高橋市郎議員

保険事業の推進と医療費の抑制に重点を置き、これからも適正化に努力を願います。

(賛成多数認定)

◇簡易水道事業特別会計

反対 島崎栄一議員

東部水道のボーリング事業は、無駄で全く意味がありませんでした。

賛成 山田庄一議員

施設の老朽化や水源の環境変化による水質悪化等により、改良は必要です。

◇水道事業会計

反対 原澤良輝議員

本事業における一時借入金の解消はできません。本決算で解消すべきです。

賛成 鈴木 勲議員

住民間の公平性と財源の確保に努めると共に、安全な水が安定供給できることを要望します。

(賛成多数認定)

※以下は全会一致で認定

◇老人保健特別会計

◇介護保険特別会計

◇下水道事業特別会計

◇利根沼田広域観光センター特別会計

◇自家用有償バス事業特別会計

◇スキー場事業特別会計

◇温泉事業特別会計



このように 決まりました。

報告

発議

- 株式会社水の故郷の経営状況
- 株式会社月夜野振興公社の経営状況
- 株式会社猿ヶ京温泉夢未来の経営状況
- 月夜野クラブトビール株式会社
- 株式会社の経営状況
- 訴訟の提起
- 議員派遣の件について
(全会一致可決)

● 町議会会議規則の一部改正
(全会一致可決)

● 社会保障関係費の二三〇〇億円削減方針の撤回を求める意見書採択

討論

● 賛成 穂苅清一議員

本発議が採択され意見書が提出される事は、非常に喜ばしいと思います。
(全会一致可決)

● 生活用品の物価高騰に対する緊急対策を求める意見書採択
(全会一致可決)

諮問

● 人権擁護委員候補者の推薦

左記の人が推薦されました。
林 好一氏(藤原)
(全会一致同意)

議案

● 町公平委員の選任
左記の人が推薦されました。

黒田克己氏(湯原)
(全会一致同意)

討論の あったもの

● 町税条例の一部改正

● 反対 穂苅清一議員

本人の同意もなく年金から住民税を差し引く、老人いじめの改正です。

● 賛成 前田善成議員

後期高齢者問題は国の問題とせず、誰の利便性か本来の意味を考慮し、またふるさと納税の活用などを踏まえ賛成します。
(賛成多数可決)

● 町山岳資料館条例の一部改正

● 反対 穂苅清一議員

山岳資料館は土合に作

るべきで、湯原の建物は個人財産であり不向きです。第二施設の利用を表明した土合の施設も、変更が無計画すぎます。

● 賛成 林喜美雄議員

官から民への考えを活かし、山岳会やガイドが中心の施設運営やサービスが望ましいと考えます。

● 反対 原澤良輝議員

昨年、資料館を作り、三月に条例を作ったばかりで、今回の変更は無計画です。
(賛成多数可決)

● 町真沢ファーム交流施設条例の一部改正

● 反対 穂苅清一議員

今の時勢に値上げをする、客離れが心配です。

● 賛成 阿部賢一議員

サービスに見合った料金体系の見直しは、魅力ある施設運営になります。

● 反対 原澤良輝議員

議論をすべき人物が関連の役員になっているのは適当でないと思います。

● 賛成 久保秀雄議員

指定管理者の経営努力により、四月以降、大きな増客・実績を上げています。
(賛成多数可決)

● 町立にはる認定こども園大規模改修工事請負契約の締結

● 反対 島崎栄一議員

契約相手の共同企業体の中に、町関係者の親族企業が入っています。法律はクリアしていても、町にとってプラスになりません。

● 賛成 林一彦議員

空き校舎等活用部会で会議を重ねています。子供たちも保護者も心待ちにし、教育の拠点となる必要不可欠な工事です。

● 反対 穂苅清一議員

当初計画では四千万円の予算でしたが、その後は補正で二回組み替えをされるという異例の経過です。最後は一億円を超え、なんと無駄なことでしょうか。

● 賛成 阿部賢一議員

小学校統合建設委員会の答申により現在に至っています。来年四月より、子供たちの声が賑やかに響くことを期待します。
(賛成多数可決)

※以下は全会一致で可決

● 町都市計画税条例の一部改正

● 町子育て支援条例の制定

● みなかみ水「環境力」宣言

20年度補正予算 (9月補正)

| 項目 | 補正額 | 主な内容 | 総額 | |
|------|-------------|--|--|--------------|
| 一般会計 | 4億2,050万9千円 | 小規模土地改良費/1,696万7千円 湯原地区まちづくり交付金事業/4,100万円 災害復旧費(農林水産施設)/1,965万3千円 災害復旧費(土木施設)/4,760万円 公債費(繰上償還分)/2億1,890万円 など | 131億8,633万1千円 | |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 1,782万円 | 予備費/1,754万円 など | 26億3,237万4千円 |
| | 後期高齢者医療 | 116万6千円 | 徴収費/116万6千円 | 2億5,316万6千円 |
| | 介護保険 | 5,349万4千円 | 基金積立金/4,419万3千円 国庫支出金等過年度分返還金 /1,314万9千円 など | 17億9,149万4千円 |
| | 簡易水道 | 3,495万5千円 | 巡視車購入費/135万5千円 猿ヶ京簡水統合工事費・水道管移設工事 /2,970万円 など | 3億895万5千円 |
| | 下水道 | 1,301万円 | 実施設計業務・認可変更設計業務委託料 /4,015万8千円 など | 15億6,051万円 |
| | 温泉事業 | 180万円 | 動力装置設置・第二配湯所配電盤交換工事 /180万円 | 4,330万円 |

◇一般会計

— 討 論 —

反対

穂苅清一議員

給食は自校方式で、地域の食材を使う必要があります。水上給食センターが廃止され、他の学校まで影響があります。

賛成

林一彦議員

住民生活に欠かせない補正です。財源は国・県の補助金と繰越金が主であり、財政運営上問題はないと考えます。
(賛成多数可決)

◇後期高齢者医療特別会計

— 討 論 —

反対

原澤良輝議員

子育て支援だけでなく、長生きして良かったと高齢者が思える配慮をする、そんな予算づくりを求めます。

賛成

河合幸雄議員

年度途中の制度見直しに対応させるもので、後期高齢者医療に必要な補正です。
(賛成多数可決)

◇下水道事業特別会計

— 討 論 —

反対

原澤良輝議員

起債はやめて、一般会計繰出金の減額を抑え、借金を減らす必要があります。

賛成

鈴木勲議員

下矢瀬、蟹杵地内に企業誘致を行なうための重要な事業です。
(賛成多数可決)

◇国民健康保険特別会計

◇介護保険特別会計

◇簡易水道事業特別会計

(全会一致可決)

◇水道事業会計

◇温泉事業特別会計

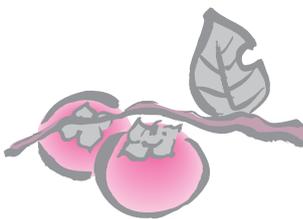
(全会一致可決)

専決処分報告

●町特別職報酬等審議会
条例の一部改正
(全会一致承認)

●町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
(全会一致承認)

●町特別職の職員で非常勤のものとの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
(全会一致承認)



阿部 賢一 議員

農林業の振興へ

連携促進法どう活かす

町長 促進協議会を設立、総合的に取組みたい



円内／農商工連携モデル(たくみの里ヨーグルト):
地元の生乳を加工し町内外で販売
下／各種交流事業での町農産物等の直売



問 本町の基幹産業である農林業をはじめ、

観光商工業は大変厳しい状況にあります。中長期的観点で地域産業振興に取り組みなければなりません。

加工、販売、観光商工業など異業種間と幅広く手を組み「食と環境」をキーワードとした付加価値を見い出す、総合的な取組みが必要と考えます。異業種間の課題を認め合い、一体化、共生関係づくりによって前進することができることはありません。

町では本年七月施行の農商工連携促進法を活用し、今後、農林業振興にどのように取り組んでいきますか。

■結婚対策

町で出会いの場を提供しては

問 交流事業等で出会いの場を提供してはいかがでしょうか。

答 町も県と連携して「嫁対策」「結婚対策」に取り組んでいきたいと考えています。交流事業の中で、結婚対策についても提案し、男女の出会いを作る交流や推進方法等について協議を

重ねていきたい。

問 交流事業等を活用して、そのような働きかけをしていく考えがありますか。

答 総合政策課長 出会いの場を設ける必要性が話題に出ているので、来年度以降実現に向けて取り組んでいきたい。

答 町長 「都市と地方の格差」と言われる状況が顕在化し、その格差が拡大していることを実感します。

地域経済の基盤である農林業および中小企業を中心とする地方の商工業について、地域全体で雇用や所得を確保し、地域社会の維持発展を図っていくことが大事です。

この機会に、異業種間の連携を重視した(仮称)「農商工連携促進協議

会」を設立したいと考えています。

問 森林整備隊が発足されましたが、その整備された森林を有効活用し「森林セラピー」として売り出したらどうでしょうか。

答 町長 各種観光事業と連携を図り、総合的かつ一体的に取り組むたい。

家庭用ゴミ袋の価格は引き下げるべき

町長 処理費負担が排出抑制につながると考える



上/指定ゴミ袋の価格には処理費用が含まれる
下/ゴミの減量化は社会全体の課題



問 民間の経済は、基本的に「受益者負担」

です。焼肉を食べるとい
う「受益」を受ける人が、
その費用を店に払います。
それに対し、行政の行
うサービスは受益者負担
ではありません。
みなで協力して行っ
た方がよいもの、費用が
安く済むものは行政で、

個人的に行った方がよい
もの、民間の方が安くす
むものは民間で行うべき
です。家庭ゴミの処分は、
行政サービスとして行う
べきものでしょう。
みなかみ町では、家庭
用のゴミ袋は「有料」です。
処分費用を上乗せされた
値段で、指定されたゴミ
袋が売られています。高

い値段のゴミ袋は、いわ
ば「税金の二重取り」です。
町には、毎年四〇億円
も地方交付税が入り、町
民からの税金も四〇億円
は入ります。これほどの
大金が集まる町が、なぜ、
家庭用ゴミ袋を高く売ら
なければならぬのでしょ
うか、大きな疑問です。
燃えるゴミ袋（大）の
値段は、みなかみ町が一
枚七〇円。川場村と昭和
村が四〇円。片品村が一

七円。沼田市が実費のみ
の約一〇円です。軽い負
担、良好なサービスを行
う自治体は人口が増え、
重い負担、低いサービス
を行う自治体からは住民
が逃げ出します。
「ゴミ袋が高い」と、町
民はなげいています。こ
こは一発、家庭用のゴミ
袋を実費のみの値段に引
き下げましょう。無駄を
省いて合理的な行政を行
い、住民負担を引き下げ

て人口の増加に結びつけ
るべきです。

答 町長 「利用料を取
ることは、税金の二
重取りに当たる」とのこ
とですが、地方自治法の
規定に基づき、特定の行
政事務に対し、手数料を
徴収できることになって
おり、多くの自治体も
行っています。

全国では、ゴミの有料
化に係争中の自治体もあ
りますが、本町の財政状
況では、これ以上清掃費
に税金を投入することは
不可能です。

町民の皆さんに処理費
の一部を負担してもらう
ことにより、ゴミの排出
抑制と、排出の実態に応
じた負担の公平化が図ら
れ、ゴミ処理経費の節減
に貢献していると思いま
す。

町では、資源ゴミを無
料や低額で排出できるよ
うになっており、分別を
徹底することでゴミ排出
量を削減でき、ゴミ袋の
使用も削減できます。

河合 生博議員

地デジ切り替えにあたり 難視聴地域への十分な配慮を

町長 全町民が受信できるように

問 家庭生活を考えると鮮明に見えるのは当然と
きに、テレビがあり、思われているのが現状で

す。

国策として導入を決定した地上デジタル放送への切り替えが、二〇一一年七月二十四日と迫り、町では難視聴地域が発生する可能性が高く、電波障害や難視聴地域をカ

バーすることが大変悩ましい問題です。そうした状況の中、映らなかつたらどこまで負担したらいいのかという、不安を抱いている人達が多いのも事実です。

本年六月の国会において制定された改正電波法で、電波利用料の一部を当該補助金への使途とする改正がされました。

町として、地上デジタル放送への対応を十分に
行い、放送開始後にも難
視聴地域が発生した場合
には、町の責任として対
処すべきです。

答 町長 テレビ放送は

日常生活に不可欠な情報手段ですので、町民全員が受信できるよう努めます。

■ふるさと納税
町外在住の『準町民』の協力が重要
問 四月に創設されたふるさと納税制度を見るさと納税制度を見据えた取り組みは、自主財源に乏しい地方自治体にとって、期待のもてる制度として注目されています。

全国の地方自治体による納税者誘致合戦は、加

熱をしてみました、

本制度に取

り組む場合

最大の効果

を得るには、

町民皆さん

がふるさと

納税制度を

理解して、

親戚知人に

声をかけて



ふるさと納税に地域の期待は高まる

ると考えます。

答 町長 環境力の向上に資する政策を明確

にして、町外から大勢の皆さんに賛同をいただける施策を展開したい。

難視聴地域の調査（二点とも）



町の請負契約は地元業者に

町長 郡内大手とJV組む等の工夫求めてきた



地元業者の活躍が地域経済の活力を生む（新治小学校建設現場、平成19年当時）

問 町長は「町の力を生む請負契約」の中で、『建設業界は厳しい経営状況です。地域の建設業者は地場産業であり納税者でもあります。二十七年

度までの事業予測はおよそ一二〇億を超え、公共事業は地元業者に発注する方法を考えた」と

表明されました。現状の落札結果を見ると、必ずしもそうではありません。どのようにお考えですか。

答 町では、条件付き一般競争入札にしたとき、町内業者が入る数が少なくなりますが、郡内くらいの中でJVを組んでもらい、参加できる体制をとって欲しいと言ってきました。

町は、広く指名できる機会を作る立場です。確かに、五千万円未満の工事は指名競争入札の基準としては高いかもしれませんが、こうした地元業者を入れないので決めました。

問 今後、一二〇億円を超える事業が考えられる中で、このまま推移したら、七〇八割が数社に偏って落札されます。JVを組むとき、町内業者で組めないのでしょうか。

答 町内業者でJVを組むことは、多に結構なことです。結果を見ると、落札業者が偏っています。指名競争入札でも一般競争入札でも良いですが、町内業者が落札できる具体的な方法はないでしょうか。

町内公園施設等の管理に

住民との協働が必要では

町長 ぜひ協力をお願いしたい



ボランティアによって手入れされた B&G 運動公園
(左=草刈作業/下=手入れ後の様子)



答

町長 町が合併し、行財政改革を進める

管理は、住民と行政の連携による管理体制の構築が必要と考えますが、町の考えを伺います。

問

合併後の行財政改革で各種補助金がカットされる中、町直営の管理による公園施設等が、手の行き届かない状況にあります。特に新治中

中で、経費削減のもと、公共施設が荒れてしまった現実があります。

管理運営を住民と連携したらどうかとの話ですが、町とすれば、適正な管理費で地域住民の皆さんに協力いただけるならば、自助互助の精神から思います。

新治中央運動公園では、一部住民のボランティアと支所の連携によって、草刈りや樹木のせん定等が行なわれたとの事ですが、感謝すると共に、これからの管理運営の方向性を十分検討したいと思います。

問

名胡桃城址の保存、整備についてはいかがですか。

思っています。

答

町長 今年、樹齢を重ねた大きな松が枯れ、大変もったいない思いをしました。その他にも、松やツツジが残っており、うまく保存方法を考えていかなければと

来年のNHK大河ドラマ「天地人」にも登場するので、観光地として多いにPRして行きたいと思えます。現状のままでは問題なので、早急に整備を考えていきます。



名胡桃城址は大河ドラマ「天地人」の舞台の一つ

町営住宅の安全確保に 早急な対応を

町長 予算の範囲で順次対応



要望によって設置された外灯（上牧団地）

問 町営住宅の十一カ所
五六九戸のうち、建
物内の階段、踊り場の手
摺りがないところがあり
早急に対応が必要です。

答 **町長** 高日向、大穴、
鹿野沢、上布施は、
予算の範囲以内で順次設
置してまいります。

問 八月一日付で、既
存入居者に新たに入
居契約を求めて書類を送
付していますが、費用も
事務量も大変です。もっ
と親切的な対応があつても
良かったのでは。

答 **地域整備課長** 今ま
では契約書ではなく
「請書」一通に、本人と
連帯保証人の署名と印鑑
証明で入居していました。
条例改正され、このたび
三者で契約書を締結させ
ていただいています。災
害のあった水上地区は、
提出期限を延ばしていま
す。

■学校統廃合

町民との合意を形成すべき

問 統廃合計画の是非は、
「地域の核としての
拠点」「町民の合意」「子
供の教育、生活環境に良
好であること」の三点を
基準と考えますが。

問 水上地区教育施設整
備計画が二年がかり
で結論が出たのに、計画
変更とは！
これを撤回し、従来の
計画（小中一貫校）の早
期実現が必要ではないで
しょうか。

答 **教育長** 学校規模即
ち児童生徒数、通学
距離などの地理的条件、
そして教育といえども、
財政の裏付けがなければ
なりません。

答 **教育長** 撤回できな
いと思います。一体
型を断念し、小中分離型
で小中一貫教育を今後も
推進したい。

原澤 良輝議員

月夜野ICの接続部道路 途中に出入口を増やせないか

町長 接続方法や需要面で困難

問 月夜野インターの取り付け道が長く、

師・後閑地区など利用者が不便なので、途中に出入口を設けてはどうか。

また、下牧サービスエリアにスマートインターを設置してはどうか。

答 **町長** 地区住民が不便を感じているので

県に要望しましたが、利用者数や接続方法に問題が多いです。

答 **地域整備課長** ス

マートインターは利用者約千人以上いれば、設置協議に入れます。



月夜野ICは立地上の理由で大変長い接続路を持つ
(左写真、橙線の部分)



■公益通報 公益通報者保護条例の制定は

問 官製談合や、カビに汚染された輸入米が流通するなど、法令違反が絶えません。通報者を保護する条例制定はどうか。

答 **町長** 通報者の個人情報保護に留意し、迅速かつ適切に処理する実施要綱を策定する方向で検討しています。

■請負契約の公平

町内業者を応援する契約になるよう

問 町発注工事の受注額は一番の会社が四四%、二番目三六%と偏っています。

町民の不信を取り除くため、町の特別職が関連する企業と町の契約を制限する「政治倫理条例」を制定すること、条件付き一般競争入札の、上限五千万円を県並に一千万円にするように求めます。また、百万円未満の少額工事は、直接、町が発注するように求めます。

答 **町長** 町長から任命された特別職は、地方自治法を守る立場にあると理解しているので「倫理条例」は制定しません。

条件付き一般競争入札は、町内の業者に受注し易いように条件をつけました。当時、五千万円の上限は、県が上限を五千万円にした時に決めました。その後、県が上限を一千万円に下げたことになりました。
少額工事の随意契約は、一部運用基準が必要ですが、運用で行なっています。

広域化に備えた 消防の体制づくりを

前田 善成 議員

町長 協議・検討し行いたい



秋の消防点検式(二点とも)



問 県は、十一司令本部を一つにする方針で、広域化による消防団の負担が増えます。

自然災害時に備え、各業界と防災協定を結んでおくことや、防災活動に消防団OBを組織化する考えがありますか。
また、光ケーブル化でオフトークが使用できなくなる地区の防災無線への取組みを伺います。

答 **町長** 消防の広域化は必要であり、消防団役員、消防委員会に意見を聞き決めていきたい。

答 **総務課長** 防災協定は、建設業界と協議中です。消防団OBの組織化は引き続き検討したい。

答 **総合政策課長** 水上地区のオフトークの件は、検討します。

問 家庭より長い時間を過ごす保育施設の基準は、昭和二十三年のままで、職員の資格更新のとき、代理要員や登用助成、小中学校のように職務免除をすることや、子供に家庭の格差を感じ

■保育施設の将来 六十年前の基準で問題はないのか

させない子ども園等の運営など、子供に一番必要な保育施設の将来像や基準を伺います。

答 **教育長** 基準は昭和二十三年のままですが、基準は満たして

問 エコタウンを前面に出して、大手企業とタイアップし、クリーン電力証書システム、新エネルギー事業等の補助を活用すること。森林整備の収入源としてのチップ化やバイオマスを観光

■環境保護と地域振興

バイオマスタウン構想で地域性出しては



新エネルギーとして注目される流木チップ(小仁田ストックヤード)

地再生の道具とするなどの考えがありますか。

答 **町長** 町は、家畜の糞、生ゴミ、間伐材等でバイオマス堆肥を作っています。それを活用して菜の花を栽培し、食用油として活用し、廃油をバイオマスエネルギーとして利用しています。CO₂を削減し、森林を整備したい。ペレット等には企業の要望もあります。

答 **農政課長** 間伐材の需要は見直されており、バイオマス資源を調査し、森・山・川宣言に取り組みたい。

10月臨時議会

平成20年10月20日

報告

●平成二十年度建設機械整備ロータリ除雪車購入契約の変更

議案

●まちづくり交付金事業 笹笛橋架替工事請負契約の締結

討論

反対 原澤良輝議員

日本弁護士会は、落札率が九五%以上あるものは一般的に談合の疑いがあるとされており、本件も該当しているため反対です。

賛成

鈴木幸久議員

公正に処理されており、また観光誘客のための素晴らしい施設になると思っています。

●一般会計補正予算

討論

反対

穂刈清一議員

土地開発公社に十三億円余の債務保証する案件があり、これは町の借金と同じです。

●町教育委員会委員の任命

左記の人が推薦されました。

木村孝弘氏（月夜野）

（全会一致同意）

みなさんからの 請願・陳情 審査結果一覧

| No. | 受理年月日 | 件名 | 提出者 | 付託委員会 | 審議結果 | | |
|-----|-------|----------|---------------------------|---|---|------|------|
| 請願 | 8 | 20. 8.26 | 観光地における夜間の騒音及び騒動の制限に関する請願 | みなかみ町月夜野1744-1 観光まちづくり協会 会長 岩田照丈 ほか賛同者28人 | 総務文教 | 趣旨採択 | |
| | 陳情 | 4 | 20. 8.22 | 社会保障関係費の2200億円削減方針の撤回を求める意見書採択について | 沼田市白岩町213 連合群馬沼田地域協議会 議長 中村一喜 | 総務文教 | 採 択 |
| | | 5 | 20. 8.22 | 生活品の物価高騰に対する緊急対策を求める意見書採択について | 沼田市白岩町213 連合群馬沼田地域協議会 議長 中村一喜 | 総務文教 | 採 択 |
| | | 6 | 20. 8.25 | 湯宿温泉に所在する旧新治村保健センター施設を認知症対応型共同生活介護施設（グループホーム）として活用させていただきたい | みなかみ町布施71-2 NPO法人みんなの太助さん 理事長 永井公司 ほか9人 | 厚生 | 継続審査 |

議会の動き

*平成20年8月～10月

| | | |
|-------|---------------------------------|--|
| 8月 | 1(金) | 厚生常任委員会管内視察 武尊神社例大祭 |
| | 4(月) | 利根川適正利用推進協議会 利根地方総合開発協会民政部会 都市計画再編会議 |
| | 6(水) | 産業観光常任委員会管内視察 |
| | 7(木) | 利根川源流森林整備協議会設立総会 第59回利根川治水大会 |
| | 8(金) | 利根沼田学校組合議会 「反核平和の火」リレー来庁 |
| | 9(土) | 取手市花火大会 |
| | 15(金) | 県戦没者追悼式 |
| | 17(日) | みなかみ祭り |
| | 18(月) | 産業観光常任委員会 議長・事務局長研修(～19日) |
| | 19(火) | 防犯協会定期総会 |
| | 20(水) | 全国議会広報委員研修会 青森県七戸町議会視察来町 |
| | 21(木) | 小口資金融資審査会 企業誘致活性化振興特別委員会 認定こども園改修工事説明会 |
| | 22(金) | 総務文教・教育施設委員会合同管内視察 |
| | 24(日) | 藤原湖マラソン大会 |
| | 25(月) | 厚生常任委員会 郡定例議長会 利根地方総合開発協会 |
| 27(水) | 議会全員協議会 | |
| 28(木) | 資源リサイクルセンター運営委員会 町公共施設等検討委員会 | |
| 30(土) | おいで祭り(～31日) たくみの里そば祭り(～31日) | |

| | | |
|----|-------|---|
| 9月 | 2(火) | 企業誘致活性化振興特別委員会 |
| | 3(水) | 議会運営委員会 |
| | 4(木) | 議会決算勉強会 |
| | 6(金) | 町内中学校運動会(水上・新治) |
| | 7(日) | 町ターゲットバードゴルフ大会 |
| | 9(火) | 町グランドゴルフ大会 福祉パレード来庁 |
| | 10(水) | 第6回みなかみ町議会9月定例会(開会日) |
| | 11(木) | 第6回みなかみ町議会9月定例会(一般質問) 議会全員協議会 町内保育園・小学校運動会(幸知・第2) |
| | 12(金) | 第6回みなかみ町議会9月定例会(一般質問) 各常任委員会 町内保育園・小中学校運動会(藤原・第3) |
| | 13(土) | 町内小学校・幼稚園運動会 (月夜野北・古馬牧・桃野・水上) |
| | 15(月) | 町内幼稚園運動会(にいほる・若栗) |
| | 16(火) | 総務文教常任委員会 |
| | 17(水) | 教育施設等検討特別委員会 |
| | 18(木) | 町内保育園運動会(第1) |
| | 19(金) | 第6回みなかみ町議会9月定例会(閉会日) 産業観光常任委員会 |

| | | |
|-------|-------------|------------------------------------|
| 9月 | 19(金) | 企業誘致活性化振興特別委員会 |
| | 20(土) | 町内小・中学校運動会(新治・月夜野中学校) |
| | 24(火) | 小口資金融資審査会 R17号新三国トンネル開削促進期成同盟総会 |
| | 26(木) | 平和式典・戦没者追悼式 |
| | 27(金) | 町内幼稚園・保育園運動会(月夜野・にいほる) |
| | 28(土) | 町民体育祭 |
| | 29(日) | 利根沼田総合開発協会陳情要請(群馬県) |
| 30(月) | 町公共施設等検討委員会 | |

| | | |
|-------|--|---|
| 10月 | 1(水) | 資源リサイクルセンター検討委員会視察研修(静岡県) |
| | 2(木) | 利根郡議員ゴルフ大会 |
| | 3(水) | 議会だより編集特別委員会 総務文教常任委員会 有害鳥獣対策協議会 伊奈町町民号打合せ |
| | 4(土) | 防火ポスター表彰式 利根招魂祭 |
| | 5(日) | 消防団秋季点検式 昭和の秋祭り 谷川岳遭難者慰霊祭 利根川源流祭り 芸能愛好会発表会 |
| | 7(火) | 町秋季安全パレード |
| | 8(木) | 教育施設等検討特別委員会 議長県外研修(山口県～10日) |
| | 10(金) | 議会だより編集特別委員会 町ゲートボール大会 |
| | 12(日) | 町森林整備隊結団式 北向観音秋季例大祭 |
| | 14(火) | 郡議長会10月定例会 広域圏議会 |
| | 15(水) | 関東町村議長会研修会 |
| | 16(木) | 全国ふるさと市町村圏セミナー 2008利根沼田 (～17日) |
| | 20(月) | 第7回みなかみ町議会10月臨時会 議会全員協議会 総務文教常任委員会 議会だより編集特別委員会 厚生常任委員会 教育施設等検討特別委員会 県議長会役員会(渋川市) |
| | 21(火) | 土地開発公社理事会 |
| | 22(水) | 湯原温泉公園運営委員会 |
| 23(木) | 総務文教常任委員会 | |
| 24(金) | 利根商業高等学校創立50周年記念式典 全国川サミットin利根川(～26日) 利根郡体育協会表彰式 | |
| 26(日) | 豊楽まつり 社協フェスティバル | |
| 28(火) | 東京都あきる野市議会視察来町 | |
| 29(水) | 町村議会議員研修会(吉岡町) | |

議会だより編集委員会

- ◆委員長 林 一彦
- ◆副委員長 阿部 賢一
- ◆委員 前田 善成 原澤 良輝
- 河合 幸雄 本多 秀律

議会を傍聴してみませんか？

◆12月の定例会は、
10～19日を予定しております。

一お問い合わせは— 議会事務局まで
☎ 25-5023(直通)





早期に解決を望む谷川岳周辺道

木村弘平（小日向）

今や、どこの観光地でも入込み客の落込みで頭を悩ませています。

また観光に対する認識も多様化し、旅行会社の宣伝を見ると、目的は景勝地や施設見学、体験型が多くなっています。食事は地域特産のメニューで、安心・安全の食を求めています。その後、疲れを癒す所が温泉地で、掛け流し湯の旅館が定番になっています。

合併後に、再び谷川岳周辺の交通問題が話題になっているようですが、

以前水上町においては、谷川岳周辺輸送問題に対する特別委員会が

設置され、計画、

調査、立案、検討がされました。その

内容は、観光客がゴンドラに乗って空中散歩をして

いただく施設でした。土合口に山麓

駅を造り、2km先の一ノ倉沢中腹に

山頂駅を造る計画で、基本計画が策

定され、許認可を得る事になってい

ましたが、その後計画は挫折しています。

別の委員会でも委員一〇人で芝倉

沢の奥まで踏査されました。この時

私は、「国道二九

一号線は芝倉沢ま

で供用開始されています。公共事業で安全・安心な

道路にして、環境に優しい車で、歩行者も通行で



明治時代に整備された石垣が今も残る

き、また一般車両は原則乗入れ禁止とすべきです」との提言をしました。

文献によると、この道路は、明治十八年に湯松

曾から越後の清水村まで開通されていて、交易が

盛んに行なわれ、小日向はその集積地として栄え

たようです。今は国道二九一号線になっています

が、明治の面影を今に残す貴重な石垣積みが、百

二十年過ぎた今も残っている、歴史的な山岳道です。

また湯松曾川に沿っていた道は廃道になりましたが、

当時はマチガ沢、一ノ倉沢や芝倉沢に集落

があり、今もその形跡を残す無縁墓碑があります。

一日も早く歴史街道を整備・促進される事を願うものです。



辺りの山々も色づき、冬の足音も聞かれるこの頃です。

平成十九年度一般会計決算も黒字となり、約四億五千万円を基金へ繰入

れ予定です。

しかしながら、厳しい財政状況には変わりがあり

りません。さらなる行財政改革に取り組みます。

「環境力」宣言をし、子育て支援条例も制定しました。

地の利、人の和が整い

たる「みなかみ町」、町民等しく幸福を感じる町づくりに努めてまいります。

分かりやすい紙面作りを心がけ、読みたくなる

「議会だより」編集に取り組みますので、これからもぜひご覧下さい。

副委員長 阿部賢一